News Release

2026年11月10日
日本製紙クレシア株式会社

鹿島アントラーズのホームゲームで第３回「＃箱芯パックチャレンジ」を実施
『自分から始める』紙資源リサイクルを新しい習慣に

日本製紙グループの日本製紙クレシア株式会社〔住所：東京都千代田区神田駿河台 4-6、代表取締役社長：藤原隆史、以下「当社」〕は、鹿島アントラーズと共同で、資源循環型社会の実現に向けた紙資源リサイクル企画「＃箱芯パックチャレンジ」を、2026 年 11 月 28 日（土）に開催される2026／27明治安田J1リーグ 第 17 節 ファジアーノ岡山戦（メルカリスタジアム NIPPON STEEL ゲート前広場 日本製紙クレシアブース）にて実施いたします。



本企画は、「資源循環の習慣化」をテーマに、生活者一人ひとりが主役となり、ご家庭で使い終わった【ティシューの空き**箱**】【トイレットロールの**芯**】【飲料用紙**パック**】をご持参いただくことで、身近な資源の循環と新しいリサイクル習慣を広げることを目的としています。
当社がこれら 3 種類の紙資源を回収対象とする理由は、ティシューの空き箱とトイレットロールの芯は当社主要商品で使用されていることに加え、飲料用紙パックについては、「スコッティ® フラワーシリーズ」や「クレシア EF」ブランドにおいて、飲料用紙パック等を原料として再生された高品質なパルプを一部使用しているためです。「自分が使ったものを資源として社会に戻す」という行動を、身近に実践できるアクションとして提案し、生活のなかに新しい循環の習慣が根付くきっかけとなることを願っています。

■イベント概要
・日時：2026 年 11 月 28 日（土）11:00～15:00
・場所：メルカリスタジアム NIPPON STEEL ゲート前広場 日本製紙クレシアブース

日本製紙クレシア株式会社
東京都千代田区神田駿河台 4-6 〒101-8215
https://www.crecia.co.jp/

・回収対象品目／持参時のお願い：

回収物	持参時のお願い
ティシューの空き箱	取り出し口のフィルムは剥がし、箱をたたんだ状態でご持参ください
トイレットロールの芯	平らになるように切って開いてご持参ください
飲料用紙パック	洗って、開いて、乾かした状態でご持参ください

・参加特典：
回収資源をご持参いただいた先着 1,000 世帯様にハズレなしのくじを実施します。
さらに、クレシアのティシュー、「クリネックス®」または「スコッティ®」の空き箱をお持ちいただいた方には、「クレシア×アントラーズ オリジナルデザイン スコッティ® カシミヤ ナチュラル 50 組」をもれなくプレゼントします。スコッティ® カシミヤ ナチュラルの包装には環境にやさしい紙素材である、日本製紙のヒートシール紙“ラミナ®”を使用し、プラスチック削減に寄与します。
※プレゼントはなくなり次第終了となります。



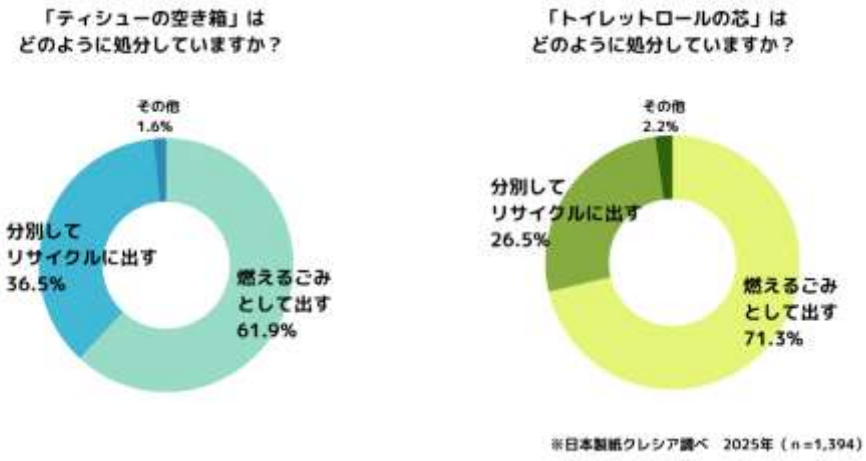
また、紙資源の回収以外にも、どなたでも楽しめる「クレシア クイズ」も実施予定です。新しい資源回収の体験を通じて、ご自身の行動を変えるきっかけになれば幸いです。
※イベント内容は予告なく変更となる場合がありますので、ご了承ください。

■企画への想い
当社は、紙資源の循環を推進する企業として、皆さまの日常に寄り添った商品づくりとともに、資源循環の新しい形を社会に提案しています。「＃箱芯パックチャレンジ」は、生活者の皆さまが日常で使い終えた紙資源をご自身で分別しリサイクルする、“新しい行動習慣”の定着を促す取り組みです。自らの手で資源循環の一歩を踏み出す、この機会を通じて、多くの方にご参加いただきたいと考えています。

これまでに実施した 2 回のイベントでは、下記の通りたくさんの資源が集まりました。今回はより多くの方にご参加いただけることを楽しみにしています。

回収物	2026年5月23日（土） FC東京 戦	2025年12月6日（土） 横浜F・マリノス 戦	合計
 ティシュ―の空き箱	412	315	727
 トイレットロールの芯	1,169	797	1,966
 飲料用紙パック	500	386	886
合計	2,081	1,498	3,579

■参考データ（当社 WEB 調査）
2025 年に実施した WEB 調査（n=1,394）では、処分方法について、
・ティシューの空き箱：「燃えるゴミとして処分」は 61.9%、「分別してリサイクル」は 36.5%
・トイレットロールの芯：「燃えるゴミとして処分」は 71.3%、「分別してリサイクル」は 26.5%
という結果となりました。
また、他の資源ごみとして回収に出されているものと比較すると、ペットボトル（76.9%）や缶（73.9%）は 7 割以上の方が分別してリサイクルに出している一方で、ティシューの空き箱（36.5%）やトイレットロールの芯（26.5%）は 3 割程度にとどまっています。この調査結果からも、身近な紙資源が「燃えるゴミ」として廃棄されるケースは依然多く、分別リサイクルへの行動変容と新しい習慣づくりの重要性がうかがえます。



11 月 28 日（土）は、「＃箱芯パックチャレンジ」として、生活の中で使い終えた資源を、ぜひご自宅からご持参ください。ご自身の行動が“社会の新しい習慣”として広がっていくきっかけになります。抽選や体験イベントを通じて、持続可能な未来への新しい一歩を踏み出していただければ幸いです。

「＃箱芯パックチャレンジ」は、生活者一人ひとりが主役となる紙資源リサイクルの取り組みです。スタジアムから、“自分ごと”として資源循環の一歩を始めてみませんか。皆さまのご参加をお待ちしています。